

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成22年2月12日 (2010.2.12)

【公表番号】特表2009-522159(P2009-522159A)
 【公表日】平成21年6月11日 (2009.6.11)
 【年通号数】公開・登録公報2009-023
 【出願番号】特願2008-548802(P2008-548802)
 【国際特許分類】

B 6 3 B 1/38 (2006.01)

B 6 3 B 1/12 (2006.01)

【F I】

B 6 3 B 1/38

B 6 3 B 1/12 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月11日 (2009.12.11)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

a) 離間して配置されたハルがプラットフォームに連繫されているカタマランハルと、カタマランハルを推進する一体の推進システムと、

b) カタマランハルの前後に配備されたシールであって、加圧された空気を、離間したハルとハルの間及びシールとシールの間にある空間の中にトラップされることができるようにするフロントシール及びリアシールと、

c) カタマランハルに収容され、加圧された空気を前記空間に送給する電動式リフトファンシステムと、

d) 離間した各ハルにおけるサイドシールシステムであって、離間した各ハルの側部に移動可能に取り付けられた可動ドアと、ドアの下方で、ドアと離間したハルの間に延在する膨張可能なシールとを含むサイドシールシステムと、
 を具備しているカタマラン表面効果船。

【請求項 2】

各ドアは、離間したハルに回動可能に取り付けられている請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3】

各ドアは、ヒンジで離間したハルに取り付けられる請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 4】

膨張可能なシールは、離間したハルとドアとの間に延在する張力膜を有している請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 5】

各張力膜は、ドアの下端部に取り付けられる請求項 4 のカタマラン表面効果船。

【請求項 6】

張力膜は、1 又は複数のドレンを運んで、シールから水が取り除かれるようにする請求項 4 のカタマラン表面効果船。

【請求項 7】

カタマランハルの中を通るチャンネルを有し、該チャンネルにより、膨張可能なシール

を膨張させることができる請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 8】

チャンネルは、使用中、最大水面よりも上の位置にある請求項 7 のカタマラン表面効果船。

【請求項 9】

チャンネルにはバルブが設けられている請求項 8 のカタマラン表面効果船。

【請求項 10】

チャンネルは、膨張可能なシールの少なくとも一部分を収縮させるための真空源に接続されている請求項 9 のカタマラン表面効果船。

【請求項 11】

真空源はベンチュリであり、該ベンチュリにはバルブが設けられ、膨張可能なシールを選択的に真空で引くことができる請求項 10 のカタマラン表面効果船。

【請求項 12】

閉位置において、各ドアを離間したハルにロックするロッキング機構をさらに具えている請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 13】

ロッキング機構は、ドアを閉位置に固定させることができるようにする電動式ロッキングドッグを有している請求項 12 のカタマラン表面効果船。

【請求項 14】

シールは、静水圧を用いて、少なくとも部分的に収縮されることができる請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 15】

各ドアの上端部は、離間したハルの上面の近傍位置で離間したハルに取り付けられる請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 16】

1 又は複数のシールは可撓性である請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 17】

推進システムはプロペラを有している請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 18】

プロペラは、カタマランハルの接岸等の際、独立して動作可能である請求項 17 のカタマラン表面効果船。

【請求項 19】

シールは、少なくとも 1 以上の可撓性フィンガーをさらに具えている請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 20】

離間した各ハルはプラットフォームの下方に延在するフロートであり、各フロートの内面は離間したハル間の空間の側部を画定する、請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 21】

前記内面は、プラットフォームから下方に延在する請求項 20 のカタマラン表面効果船。

【請求項 22】

前記内面は略垂直方向に延びる請求項 21 のカタマラン表面効果船。

【請求項 23】

離間したハルはフロートであり、各フロートは、内面と外面を有し、内面及び外面の下方にキールを有する請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 24】

各可動ドアは、フロートの外面でフロートに取り付けられる請求項 23 のカタマラン表面効果船。

【請求項 25】

ドアは開位置と閉位置の間を移動し、閉位置でフロートの外面に近接する請求項 23 の

カタマラン表面効果船。

【請求項 2 6】

フロントシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 2 3 のカタマラン表面効果船。

【請求項 2 7】

リアシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 2 3 のカタマラン表面効果船。

【請求項 2 8】

離間した各ハルは、内面、外面及びキールを有しており、ハルの内面はプラットフォームから下方に延在し、空間は、プラットフォームの下方及び水面の上方、並びに離間したハルの内面と内面の間に延在する請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 2 9】

各可動ドアは、フロートの外面でフロートに取り付けられるる請求項 2 8 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 0】

フロントシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 2 8 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 1】

リアシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 2 8 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 2】

サイドシールシステムを膨張可能なシールは、膨張するとキールの下方で延びる請求項 2 8 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 3】

膨張可能なシールは、膨張すると離間した各ハルの底部の下方で延びる請求項 1 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 4】

a) 離間して配置されたハルがプラットフォームに連繋されているカタマランハルと、カタマランハルを推進する一体の推進システムと、

b) カタマランハルの前後に配備されたシールであって、加圧された空気を、離間したハルとハルの間及びシールとシールの間にある空間の中にトラップされることができるようにするフロントシール及びリアシールと、

c) カタマランハルに収容され、加圧された空気を前記空間に送給する電動式リフトファンシステムと、

d) 離間した各ハルの外面に回動可能に取り付けられ、各々が上面と下端部を有するドアと、

e) ドアの底部を離間したハルの外側部から離れる方向に回転させる膨張可能な部分と、
を具えているカタマラン表面効果船。

【請求項 3 5】

膨張可能な部分は、離間したハルからドアに延びる可撓性膜をさらに具えている請求項 3 4 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 6】

バルブ部材をさらに具えている請求項 3 5 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 7】

ドアを離間したハルにロックする内部ロッキング機構をさらに具えている請求項 3 4 のカタマラン表面効果船。

【請求項 3 8】

空間から膨張可能な部分に延びるチャンネルをさらに具えている請求項 3 4 のカタマラン表面効果船。

【請求項 39】

離間した各ハルは、内面、外面及びキールを有しており、ハルの内面はプラットフォームから下方に延在し、空間は、プラットフォームの下方及び水面の上方、並びに離間したハルの内面と内面の間に延在する請求項 34 のカタマラン表面効果船。

【請求項 40】

各ドアは、フロートの外面でフロートに取り付けられている請求項 39 のカタマラン表面効果船。

【請求項 41】

フロントシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 39 のカタマラン表面効果船。

【請求項 42】

リアシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 39 のカタマラン表面効果船。

【請求項 43】

サイドシールシステムを膨張可能なシールをさらに具備しており、該シールは、膨張するとキールの下方で延びる請求項 39 のカタマラン表面効果船。

【請求項 44】

離間した各ハルはプラットフォームの下方に延在するフロートであり、各フロートの内面は離間したハルの間の空間の側部を画定す、請求項 34 のカタマラン表面効果船。

【請求項 45】

前記内面は、プラットフォームから下方に延在する請求項 44 のカタマラン表面効果船。

【請求項 46】

前記内面は略垂直方向に延びる請求項 45 のカタマラン表面効果船。

【請求項 47】

離間したハルはフロートであり、各フロートは、内面と外面を有し、内面及び外面の下方にキールを有する請求項 34 のカタマラン表面効果船。

【請求項 48】

各ドアは、フロートの外面でフロートに取り付けられる請求項 47 のカタマラン表面効果船。

【請求項 49】

ドアは開位置と閉位置の間を移動し、閉位置でフロートの外面に近接する請求項 48 のカタマラン表面効果船。

【請求項 50】

フロントシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 47 のカタマラン表面効果船。

【請求項 51】

リアシールは、一方のフロートから他方のフロートへ延びる請求項 47 のカタマラン表面効果船。

【請求項 52】

a) 離間して配置されたハルがプラットフォームに連繋され、該プラットフォームから下方に延在しており、トンネルが離間したハルの間、プラットフォームの下方及び水面の上方に形成され、離間した各ハルは内面及び外面を有するカタマランハルと

b) 各々が一方のフロートから他方のフロートに亘って横方向に延在するフロントシールとリアシールであって、加圧された空気クッションを、前記フロート及び前記シールによって囲まれ、前記トンネルを含む空間の中にトラップされることができるようにするフロントシール及びリアシールと、

c) カタマランハルに収容され、加圧された空気を前記空間に送給する電動式リフトファンシステムと、

d) 各フロートにおけるサイドシールシステムであって、各フロートの外面に移動可能

に取り付けられた可動ドアと、ドアの下方で、ドアとフロートの間に延在する膨張可能な
シールとを含むサイドシールシステムと、
を具えているカタマラン表面効果船。